

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008横第23号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成20年5月4日（日） 08時03分ごろ	
発生場所	神奈川県横須賀市海瀬島灯台から真方位031° 920m付近 (概位 北緯35° 13.2′ 東経139° 44.4′)	
事故等調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を横浜地方海難審判理事所から引き継ぎ、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 遊漁船 ^{ちょういち} 長一丸、3.0トン 232-17637千葉、個人所有 B モーターボート あさかぜ、長さ6.26m 230-44365神奈川、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士 B 船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷船首外板擦過傷 B 船外機カバー破損	
事故等の経過	A船は、船長ほか釣り客1人が乗り、釣り場に向けて航行中、B船は、船長ほか2人が同乗し、海瀬島北北東方沖で錨泊中、平成20年5月4日08時03分ごろ、A船の左舷船首とB船の船尾とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風速 約5m/s 海象：潮汐 下げ潮末期、約1.7ノットの南南西流	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、船長が魚群探知機を見ることに気をとられ、適切な見張りを行わなかったことにより、B船に気付かなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、海瀬島北北東方沖において、A船が釣り場に向けて航行中、B船が錨泊中、A船がB船に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	